

請願・陳情

9月定例会では継続審査となっていた2件の請願のうち、1件を採択しました。陳情は1件を受理し、全議員及び執行機関に陳情文書表を配付しました。

採択した請願は意見書の提出を求めるもので、意見書欄に全文を掲載しています。

意見書

9月定例会では1件の意見書を可決し、関係機関へ送付しました。

意見書とは、地方公共団体の公共の利益に関する事について議会としての意思を意見としてまとめ、国会または関係行政庁に文書で提出するものです。
(地方自治法第99条)

原発に依存しないエネルギー政策へ転換を求める意見書

東京電力福島第一原子力発電所の事故から4年がたちましたが、いまだに事故は収束しておらず、11万9千人の人が県内外に避難生活を余儀なくされています。そのような状況のもと、新規制基準に適合したとして、幾つかの原発において再稼働に向けての進捗が進んでいます。

経済産業省は、6月1日の有識者会議でエネルギーミックスの最終案を示しました。最終案では、再生可能エネルギーの割合を2030年度までに平成25年度(2013年度)の2倍以上にふやすとするものの、原子力発電については再稼働や40年廃炉の延長を前提とした20%から22%という数値を打ち出しています。

そして、原発再稼働をめぐっては、原子力規制委員会の新基準に事故が起きた場合の住民の避難計画などを審査する基準がなく、自治体任せになっていることは大きな問題です。政府は原発から30キロメートル圏内の自治体に避難計画をつくるよう求めています。作業が難航している自治体が多いのが現状です。

司法においては、福井地方裁判所が、昨年5月に大飯原子力発電所の運転差止め裁判で運転差止めを認め、今年4月には高浜原子力発電所3号機、4号機の再稼働を認めない仮処分決定を出しました。これらの判決には、生活に影響を受ける範囲を原発から2百50キロメートル圏内とし、その範囲の住民の人格権を保障することなく原発を運転することは許されないことが記されました。

国民の生命と国土を守ることは政府の役割です。原発に依存したエネルギー政策を転換し、できる限り早期の原発ゼロを政策目標とし、その実現のため再生可能エネルギーの普及促進に向けて、取り組むことを求めます。

よって本市議会は、国会及び関係行政庁に対し、次の事項を実現するよう求めます。

- 1 原発再稼働については、立地自治体の賛同だけによるのではなく、周辺自治体の賛同を得るよう取り組むこと。
- 2 原発に依存したエネルギー政策を転換し、できる限り早期の原発ゼロを政策目標として、その実現のため再生可能エネルギーの普及促進に向けて取り組むこと。

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、経済産業大臣、環境大臣あて

市民と議会の意見交換会を4会場で開催します

今回は、会場ごとに設定されたテーマをもとに、市民の皆さんと意見交換を行います。詳しい内容は以下のとおりです。ご参加をお待ちしています。

SOS!
今、必要な見守りとは—
日時：11月6日(金)
19時～21時
場所：花小金井北地域センター 集会室
担当：厚生委員会

これからの行政サービスについて
日時：11月7日(土)
10時～12時
場所：津田公民館 ホール
担当：総務委員会

自転車が似合う小平のまちづくり
日時：11月8日(日)
10時～12時
場所：上宿公民館 ホール
担当：環境建設委員会

安心・安全なまちづくり「防犯について考えよう」
日時：11月8日(日)
14時～16時
場所：上水南公民館 ホール
担当：生活文教委員会

定員 各会場40人程度 ※当日直接会場へお越しください(先着順) 手話通訳あり、難聴の方々の聞こえをサポートする磁気ループを準備

問合せ 議会事務局 042(346)9566

7月の意見交換会では多くのご意見をいただきました

2会場77人のご参加をいただき、幅広い意見交換を行うことができました。ありがとうございました。



▲上水新町地域センターの意見交換会の様子



▲花小金井南公民館の意見交換会の様子

○いただいたご意見(一部)

- ・市役所と市民の距離が遠いと感じており、それを埋めるのが議員であると思っている。このような会を定期的に行ってほしい。
- ・バスやごみの問題など、山積している市の問題に取り組んでほしい。

意見交換の内容やいただいたご意見、アンケート結果の詳細については、市議会ホームページ(<http://www.city.kodaira.tokyo.jp/gikai/>)をご覧ください。

議会日誌

7月22日～10月20日
本会議、委員会、諸会議など

- | | | |
|---------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|
| 7月 | 22日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会 | 28日 幹事長会議 |
| 8月 | 28日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第2委員会 | 9月 |
| 3日 多摩北部都市広域行政圏協議会審議会 | 3日 三鷹・立川間立体化複々線促進協議会 | 1日 広聴広報特別委員会 |
| 4日 広聴広報特別委員会 | 多摩地域都市モノレール等建設促進協議会 | 2日 公共施設マネジメント調査特別委員会 |
| 山口県周南市議会議員視察来庁(子ども家庭支援センターについて) | 京都府南丹市議会議員視察来庁(市民と議会の意見交換会について) | 3日 議会運営委員会 |
| 6日 東京河川改修促進連盟総会及び促進大会 | 29日 東京たま広域資源循環組合議会臨時会 | 8日 9月定例会初日 |
| 19日 東京都四市競艇事業組合議会視察研修(府中市) | 31日 昭和病院企業団議会臨時会 | 9日 9月定例会2日目(一般質問) |
| 20日 東京都十一市競輪事業組合議会臨時会 | 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第1委員会 | 10日 9月定例会3日目(一般質問) |
| 24日 総務委員会 | | 11日 9月定例会4日目(一般質問) |
| 25日 生活文教委員会(港区視察) | | 14日 総務委員会 |
| 26日 厚生委員会(市内視察) | | 15日 生活文教委員会(市内視察あり) |
| 27日 環境建設委員会 | | 16日 厚生委員会 |
| | | 17日 環境建設委員会(市内視察あり) |
| | | 18日 にぎわいまちづくり調査特別委員会(市内視察あり) |
| | | 24日 幹事長会議 |
| | | 25日 議会運営委員会 |
| | | 28日 公共施設マネジメント調査特別委員会 |
| | | 30日 9月定例会最終日 |
| | | 広聴広報特別委員会 |
| | | 10月 |
| | | 2日 小平市都市計画マスタープラン全体構想特別委員会 |
| | | 13日 一般会計決算特別委員会(15日まで) |
| | | 16日 特別会計決算特別委員会 |
| | | 19日 湖南衛生組合議会臨時会 |
| | | 昭和病院企業団議会視察研修(北海道砂川市、北海道小樽市20日まで) |
| | | 20日 広聴広報特別委員会 |

議場見学

- 《小学3年生》
- 10月9日 四小69人
- 10月22日 五小90人
- 10月22日 上宿小69人

あとながき

9月定例会ではさまざまな議案や請願等について、活発な議論が交わされました。今後も議会への関心と親しみを深めていただけるようわかりやすい紙面づくりに努めてまいります。

お気づきの点がございましたら議会事務局にお寄せください。

〒187-1801 小平市小川町二丁目

☎042(346)9566